



PORSCHE CLUB OF JAPAN

PCJ-CUP

2025



P R O G R A M

AUTO POLIS circuit 4.06

FUJI circuit 5.18

SUGO circuit 8.31

OKAYAMA circuit 9.21

SUZUKA circuit pending

協賛 住友ゴム工業株式会社 / 横浜ゴム株式会社

2025年 PCJ-CUP を迎えて

日本ポルシェクラブ会長 多田 均

30年以上にわたり、全国のサーキットを舞台にクラブレースを継続して運営しているカークラブは、日本でも非常に稀です。私自身、このクラブレースに1998年から参加し、多くの経験を積んできました。この「PCJ CUP」は、まさに家族のような温かさと絆を感じられる特別なレースです。前日にはメンバー同士で親睦を深め、語り合い、時にはお酒を酌み交わす。そしてレース当日には、いがみ合うことなく互いをリスペクトしながら真剣勝負を楽しむ。このような環境の中で、長年付き合いのある仲間と切磋琢磨しながら、車を通じて心が通い合う瞬間こそが、「PCJ CUP」の最大の魅力だと感じています。一般的なレースでは、勝つために競り合い、時には厳しい駆け引きが繰り広げられるものです。しかし、この「PCJ CUP」には、それとは異なる特別な価値観が息づいています。それは、お互いを尊重し合い、仲間として



支え合いながらも、真剣に戦うというものです。私はすべてのレースを知っているわけではありませんが、このように勝利だけを追求するのではなく、人と人とのつながりを大切にしながら楽しむレースは、他にはないと確信しています。この PCJ CUP を通じて、メンバーの皆様との交流をより一層深め、素晴らしい時間を共有できることを心より楽しみにしています。



PCJCUP 運営委員長 前田 晃

新年あけましておめでとうございます。今年度より PCJCUP 運営委員長を拝命した、関西支部 前田晃でございます。2025年は、干支では乙巳（きのと・み）で、諸説ありますが、成長や発展がテーマの1年であり、変化を受け入れ、新しいことに挑戦する意欲がたかまる年です。ここしばらく、PCJCUPへ参加できておりませんでした。これからの3年間は、裏方として会員の皆様により、PCJCUPへ、参加していただけるような運営を、会長、各支部長、カップ委員と協力し、楽しくそして参加してよかったと思える PCJCUP を目指します。皆様とサーキットでお会いできることを楽しみにしております。

PCJ-CUP 2025

クラス走行種別

クラスの種別	該 当 車 両	使用可能タイヤ
S 1	S2以外のCUP・ポルシェ製レーシングカー	ファルケン製 PCJ-CUP 用のスリックタイヤ及び レインタイヤ
S 2	2009以前のCUPカー	
N X	918・997CUP・996CUP・996GT3R・992GT3/GT3RS・991GT2RS・991GT3/GT3RS・997GT2/GT2RS・996GT2・993GT2・981GT4CS・781GT4RS・改造車(エンジン、ターボ、コンピュータ、マフラー交換車、ボディ/NAは除く、NAを含むエンジン載せ替え)	Sタイヤ(レーシング ウェットタイヤ)及び ラジアルタイヤ ※メーカー不問
N 1	水冷TURBO・997GT3/GT3RS・996GT3/GT3RS・993Turbo・992・991・997各カレラ ※道路運送車両法に準じ有効期限を有する車両	
N 2	993RS・964CUP・964RS・964Turbo・981 & 718 Cayman GT4/GTS4.0 981 & 718 Boxter GTS4.0/Spyder(ソフトトップ装着) (981 & 718各GT4のSタイヤ参戦=N 1クラス) ※道路運送車両法に準じ有効期限を有する車両	
N 3	996・993・964・930Turbo・911・968・944・914・N2以外のCayman・Boxter(ソフトトップ装着)・Panamera ※道路運送車両法に準じ有効期限を有する車両	
N classic	1989年以前生産のポルシェ車 (Turbo除く) ※道路運送車両法に準じ有効期限を有する車両	

注意 通常の範囲を超えて改造を行った場合や上記に該当しないモデル、また走行台数を考慮して、運営委員会の判断によりクラス変更を決定する場合がある。

PCJカップとは???

Welcome to the PCJ CUP series! 「PCJカップ」は多くの場合、全国各地のサーキットで行われるスポーツ・イベントです。また日本ポルシェクラブの全国イベントの1つです。参加クラスを分け、タイム計測をし、予選、決勝、そして表彰をします。これは一見すると、紛れもない「レース」です。しかしPCJカップはレースではありません! 似て非なるものです。「レース」は競技であり、勝つことがその目的の全てとなります。PCJカップのレースと決定的に異なる点です。各地のメンバーが一同に会し、語らい、共に走り、そして宴の終了時には笑顔で再会を期す—これこそが他の一般走行やイベントでは見ることのできない、PCJならではの歴史と伝統に培われた、高次元のスポーツ・イベントといえます。PCJカップは決して速さを競う為のものではなく、ポルシェ特有の運動性をより深く知り、危機回避への最上な対処を習得するためのクラブ・イベントです。ただ単に走って終わり、ではありません。新たな出会いや親睦を生む具体的な機会の場でもあります。回を重ねる毎にきっと貴兄も気付かれるはず—ポルシェを操る感覚の向上と、そこに参加することの価値を。そしてレベルアップするにつれ、そこにはまた新しい次元でのポルシェ談義とその仲間が待っていることも。歴史あるPCJの更なる発展の一翼となるPCJカップでは、まず《事故のない安全な運営》に徹します。そのため、時には皆様にご迷惑をお掛けしたり、厳しいお叱りを受ける場合すらあるかとおもわれます。しかし、全ては万が一の事故を未然に防ぎ、参加されるメンバー全員にクラブカップの楽しさを享受して頂くためのものとしてご理解ください。特にSクラス参加車両のトップ集団は車両、技術共に相当なレベルに達し、公式レースにも十分な戦闘力を持つに至っております。これはPCJ全体の誇りでもあり、今後もより一層健全、安全な発展が維持できるものと思われれます。

PCJ-CUP 2025

基本規約

I 名 称

日本ポルシェクラブ(Porsche Club of Japan)が実施するスポーツイベントの呼称で、正式には『日本ポルシェクラブカップ』と定め、単に「PCJ カップ」「PCJ CUP」又は「クラブ・カップ」の併用もある。

II 目 的

PCJ-CUP はサーキット走行のみならず、相応の施設を利用してジムカーナ、タイムトライアル、ヒルクライム及び練習走行を含む行事を通じ、日本ポルシェクラブ会員相互の交流図るもの第一義とする。

PCJ のイベントのひとつとして PCJ-CUP は実施され、参加者は事故を未然に防ぎ安全第一に運営されるよう努めなければならない。

各地から参集した支部会員が、お互いの安全第一に最大限の配慮を持ってサーキット走行を行うものとする。

III 参加資格

すべての企画は日本ポルシェクラブ会員のためのものである。サーキットに於けるイベントは危険の伴う事を熟知し、その責任は如何なる場合も自己責任とし、他の会員の迷惑になる事を避けるために最大の努力が出来る、本年度のクラブ名簿に名前の記載のあるクラブ会員であることが条件となる。また参加車両はポルシェ車に限る。但し、支部役員会で了承されたビジターに関しては、スポーツ走行に限っての参加が認められる。

IV 運営組織

1. 本部は PCJ-CUP (以後 CUP) 運営委員会を適宜開催し、その年度の CUP の基本方針を決定し、運営のすべてを掌握する。

＊ CUP 運営委員会 委員長 1 名

委 員 各支部スポーツ担当委員および支部長

＊ CUP 運営委員会の招集・開催 (年数回)

＊ CUP カレンダーの作成

＊ CUP プログラムの作成・配布

＊ CUP レギュレーションの決定

＊ CUP 成績の集計・年間表彰発表、表彰状の授与

＊ タイヤメーカー等との折衝

＊ CUP 特別会計の運営

収入 スポンサーよりのスポンサー料

支出 CUP カレンダーの作成

各支部への CUP 補助金

CUP 運営に関し、生じた利益の1/2は PCJ 本部会計に繰り入れ、損失の1/3 は主催支部、1/3 は PCJ 本部会計、1/3 は PCJ CUP 会計より補填する。(今年度より変更)

PCJ は PCJ-CUP 運営委員会を組織し PCJ-CUP 運営のすべてを掌握する。PCJ-CUP 運営委員会の構成は下記のとおり。

PCJ 関東支部	荻原 秀樹	武富 信雄	高橋 正
PCJ 関西支部	高木 俊人	吉山 滋温	岸本 博史
PCJ 東北支部	佐藤 衛	大沼 敏男	安達 暁一
PCJ 本 部	前田 晃		

2. PCJ-CUP は年間5戦行い、各支部は責任をもって1戦の企画、運営すべてを行い、CUP 成績並びに決算報告を本部に速やかに提出し、決裁を行うものとする。
3. 運営委員は CUP 安全管理を徹底し準オフィシャル（大会委員）としての役割を備え、CUP 開催中参加者の走行状態、規約とマナーの監査、車両のチェック、ドライバーズミーティングの実施、クレームの処理等を担当する。
運営委員は必要が生じた際には、参加車両の継続走行の停止、ペナルティの裁定等の行使をする権利を有する。

V 参加申込

1. 参加申込書・誓約書

クラブ・カップ開催約1ヶ月以前に、案内書類が全会員に郵送される。参加希望者は内容全般をよく把握した上で、毎回《参加申込書・誓約書》を指定の宛先に郵送する。
同時に指定期限までに参加申込費用を指定口座に振り込む。
また、これ以外の方法での参加の申込みは一切受け付けられない。

2. 参加受理書

入金確認後、通常1週間以内に参加受理書が郵送される。この受理書は当日の受付・エントリーに必要となり、イベント当日に必ず提示しなければならない。

3. 参加車両点検確認書

イベント当日には、参加車両点検確認書の記入が必要である。この確認書は「自己申告での車検完了申請書」に該当し、これがないと当日の参加は認められない。当日以外での車両点検の記入は不可で、また、虚偽の申告もしくは不完全な申告は重大なペナルティの対象となり得る。

VI 申込期限の厳守とキャンセル

案内書に明記の申込期限を厳守する。期限後の《参加申込書・誓約書》の到着及び入金に関しては、1日につき10%の割合で1週間（7日間）限度としてペナルティ・フィーが加算されて受理される。但し、参加費は理由の如何を問わず返却されないため、間違いのない手続きをすることが必要となる。銀行振込は午後2時以降の場合、翌営業日の処理となることに注意する。送金は指定口座への振込のみでなされ、現金書留での送金は一切受理されない。

VII 宿泊の手配

希望者は《申込書》にその旨を記載する。

VIII ドライバーズ・ミーティングと表彰式

出席は参加者全員の義務となり、欠席者の走行は不可となる。また、同伴者等の臨席も望ましい。

IX その他重要事項

- ① ルール
サーキット走行に関しては PCJ-CUP 基本規約と本特別規則書に従う。また、開催されるサーキットの規則に従う。さらに FIA 国際競技規則に準拠した JAF 国内競技規則に従い、ドライバーズミーティングにおける説明に従うものとする。
- ② 誓約書の確認
サーキット走行では責任の程度にかかわらず全ての損害に対して自己責任となる。車両同士の事故等が万一発生した場合は速やかに PCJ-CUP 運営委員会がペナルティの裁定等を行いドライバーはこれに従うものとする。
- ③ 初心者等表示
PCJ-CUP 初走行のドライバーはリアウィンドウにビニールテープで斜め線の表示をする。または市販の初心者マークを貼付する。
- ④ 完 走
走行周回数が N、S 両クラス 1 周できれば完走扱いとする。
- ⑤ 各サーキットの注意箇所
予選前のスポーツ走行等でドライバーは各自十分確認すること。また担当支部よりドライバーズミーティングにおいて注意箇所の説明が行われ、すべての出場ドライバーに周知する。
- ⑥ ガードレールスポンジの代金等
誓約書に記載のとおり、事故等によりサーキットの諸設備に損害を与えた場合はドライバー本人の責任において処理する。
- ⑦ ペナルティ
規則違反、マナーに反する行為、接触事故等、PCJ-CUP にふさわしくない行為があったと PCJ-CUP 運営委員会が判断した場合、ペナルティを科す。一定期間の出場停止等を PCJ-CUP 運営委員会が決定し、支部役員、当該ドライバーに通知する。
- ⑧ 傷害保険加入
本戦レース参加者は加入を義務と定め、スポーツ走行及びファミリー走行参加者は推奨する。

X ファミリー走行(ビジター参加者含む)

各サーキットにおけるプログラムでファミリー走行枠を組む場合は下記のルールに従う。

- ① 参加者の申込・車両整備・ブリーフィング参加は基本規約に準ずる。
- ② サーキット側との事前承認
 - A. 同乗走行の許可確認
 - B. 安全装備の内容確認(3点シートベルト着用、モータースポーツギア無し)
 - C. 走行方法の内容確認(先導車に追従し、追越しを厳禁と定め最大 4 周目にピットイン)
- ③ 注意事項
 - D. ファミリー走行後にスポーツ走行する場合は必ずピットに入る事。

PCJ-CUP 2025

年間総合ポイント制度

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位	9 位	10位
台数に関係なく	20	15	12	10	8	6	4	3	2	1

1. 上記ポイントは各イベント毎に、当該クラブ・カップを完走したドライバーにのみ与えられる。
2. 年間ポイントの集計は、5 戦中 5 戦の獲得ポイントの合計点数でなされる。書類の不備、走行中の違反行為、車両検査及びオフィシャル、カップ運営委員の指示・要請を無視した場合は、失格もしくはペナルティの対象となり、獲得ポイントの無効、あるいは減点の裁定が生じる。
3. 年間を通じて同ポイントが生じた場合は、クラブ・カップ運営委員による慎重な審議により最終的な順位が決定される。
4. 各回毎に参加ポイントはボーナスとして 2 点、また、その時の完走者にはプラス 1 点の計 3 点を付与。
(※注意 5 戦中 4 戦以上参加の場合 16 点が付与されたが廃止とする)
5. PCJ-CUP の年間表彰は年度末の全国総会席上で行われるが、その総会に参加しない受賞者は副賞の商品は授与されない。
6. 副賞が授与される対象クラスは、S 1・S 2・N 1・N 2・N 3・NX クラスとする。
N クラスにおいて協賛スポンサー企業様の横浜ゴム株式会社製のタイヤを全戦使用した場合に限る。

PCJ-CUP 車両規定

{Sクラス}

JAF の N 規定及び、N 2 車両規定 FIA 車両規定に準ずるが、基本的には、ポルシェ社のワンメイクである事から、ポルシェ社の製作した車両か、それに準じる改良された車両。

- ① 鉄製のロールケージで、サイドバーの入ったもの
 - ② 5 点式以上のハーネスベルト+ハンス着用
 - ③ 車両の内外部に、キルスイッチ
 - ④ 前後、牽引フック
 - ⑤ メーカー純正以外の強度に係わるボディパネルの交換は不可
 - ⑥ 消火器の積載
 - ⑦ オーガナイザーが指定した該当車両別途通知する。
 - ⑧ ファルケン製のスリックタイヤまたはレインタイヤに限る。申し込みは2016年より PCJ カップ運営委員長に直接一括発注になりました。また、同封の指定の用紙に必要事項を記入し注文すること。PCJCUP 用レーシングタイヤにはタイヤに“PCJ” のロゴマークが印字され、このタイヤが正式な PCJ-CUP 用として認められる。
 - ⑨ ゼッケンはフロントボンネットおよび左右ドアの計3箇所に表示する。
番号は PCJ-CUP 運営委員会が決定して参加受理書とともに通知し、年間同一番号を用いる。1 番は前年度総合ポイント1位のドライバーとする。
 - ⑩ 車載カメラ及びドライブレコーダーを出場車両に登載を推奨する。
- ※ 2017 年より PCJ-CUP 専用ゼッケンになります。発注は別紙で申込み。

{Nクラス}

原則的にポルシェ社の出荷時のノーマル車両とし、一部の部分のパーツ交換は認めるが、ボディパネルの交換は不可とする。

- ① 原則的には、フロントボンネット以外は、スチール製以外のボディパネルへの交換は不可であるが、最低溶接の4点支持と溶接のサイドバー装着の場合は、例外とする。
 - ② ロールケージの装着は認めるが、鉄製で身体に接する部分には不燃緩衝材を巻く。
 - ③ 純正仕様以外の改良による、ターボ、スーパーチャージャー等の過給装置は不可。
 - ④ ステアリングの社外品は、可であるが、ステアリングポストの改良及び、アルミのボスは不可とする。
 - ⑤ ハーネスベルトは、4 点式以上及びハンス着用を推奨する。3 点式純正も可とするが、その場合エアバック装着を前提とする。
 - ⑥ ABC ペダルは、ペダルカバーの変更は可能であるが、ペダル機能の変更は不可とする。
 - ⑦ フロント以外のガラスをプラスチック等の素材の物に交換は可であるが、外れない様に、取り付けに注意する。
 - ⑧ ボクスターに関しては純正のハードトップ及びソフトトップ装着時はロールゲージ不要。「それ以外のカブリオレ」に関しては鉄製のロールゲージが必要。但し、サーキット毎にルールを確認すること。
 - ⑨ 排気音量 120db(A) 以下とする。
 - ⑩ 全ての N クラスは S タイヤ(レーシングウェットタイヤ)及びラジアルタイヤと定め、2022 年度よりタイヤメーカー指定を全廃とするが、車両に合わないスピードレンジの低いタイヤ、車幅に合わないタイヤ装着、通常の走行が困難または変摩耗したタイヤの使用を禁じ出走停止とする。
 - ⑪ ゼッケンはフロントボンネットおよび左右ドアの計3箇所に表示する。
番号は PCJ-CUP 運営委員会が決定して参加受理書とともに通知し、年間同一番号を用いる。1 番は前年度総合ポイント1位のドライバーとする。
 - ⑫ 車載カメラ及びドライブレコーダーを出場車両に登載を推奨する。
 - ⑬ N X クラスは競技専用車両やの整備はメーカーの定めるメンテナンスを適宜行い道路運送車両法に準じ有効期限を有する車両も同様に点検整備をする。
 - ⑭ N 1・N 2・N 3・N classic 車両は道路運送車両法に準じ有効期限を有する車両とし自動車登録番号標(ナンバープレート)を装着した状態を保持し脱着してはならない。
- ※ 2017 年より PCJ-CUP 専用ゼッケンになります。発注は別紙で申込み。

PCJ-CUP 2025

PCJ-CUP 特別規則書

1 公示

本レースは、FIA 国際モータースポーツ競技規則およびその付則に準拠した日本自動車連盟 (JAF) の国内競技規則およびその付則、ならびにそれに準拠した各競技会特別規則書により開催される。

2 事務局

PCJ / 日本ポルシェクラブ

PCJ は PCJ - CUP 運営委員会を組織し PCJ - CUP 運営のすべてを掌握する。PCJ - CUP 運営委員会の構成は別紙の通りとする。

3 競技会の場所・日程

第1戦	2025年4月06日(日)	オートポリスサーキット
第2戦	2025年5月18日(日)	富士スピードウェイ
第3戦	2025年8月31日(日)	スポーツランド SUGO
第4戦	2025年9月21日(日)	岡山国際サーキット
第5戦	pending	鈴鹿サーキット

4 車両・参加資格

PCJ - CUP 出場車両はポルシェに限る。車両規定は別に定める。

S クラスドライバーは、日本自動車連盟 (JAF) が発給する有効な競技運転者許可証国内 A 以上を所持し、N クラスドライバーは、日本自動車連盟 (JAF) が発給する有効な競技運転者許可証国内 B 以上を所持していなければならない。(A を推奨する)

5 参加申し込み

指定の期日までに申し込むものとする。

6 参加料

開催担当支部から送付される案内書類に記載の参加料を指定期日までに振り込むものとする。

7 参加車両検査

自己の責任において車両の整備を完了し車両点検確認書を提出すること。

8 予選の日時・方法

各競技会特別規則書に明記する。

9 スタート方法

ピットロードに予選タイム順に整列しコースインする。原則として1周のフォーメーションラップを行ったのちスタンディングスタートとする。反則スタートと判定された場合はペナルティが与えられる。(鈴鹿をのぞく)

10 規則

サーキット走行に関しては FIA 国際モータースポーツ競技規則に準拠した JAF 国内競技規則と本特別規則書、ならびに開催されるサーキットの規則および、ドライバーズミーティングにおける説明に従うものとする。

11 ブリーフィング

すべてのドライバーはブリーフィング（ドライバーズミーティング）に出席しなければならない。

12 エントリー台数

N クラス、S クラスそれぞれ最大 45 台までとする。

13 周回数

各競技会特別規則書に明記する。

アクシデント等で予定周回が中断した場合は、当該競技会審査委員会がレースの成立を協議の上、決定する。

完走周回数は、1 周できれば完走扱いとする。

14 旗信号

PCJ-CUP に参加するドライバーは、FIA 国際モータースポーツ競技規則付則 H 項に定める旗信号を熟知して従わなければならない。

15 追い越し

追い越す車両がしっかりと安全を確保したラインとスピードを選択すること。

追い越される車両は急激なライン変更をせず、原則として、自己ラインを保持すること。

16 ウィンカー表示

コースイン、コースアウトの場合のみ表示すること。走行中は追い越される車両は原則としてウィンカー点滅はしない。ただし、

車両にトラブルがありスロー走行する場合は自車の避ける方向に出すこと。

17 アクシデント

赤旗中断の場合、スピードダウンしてピットにもどるかまたは指定された赤旗ラインで停止すること。コース上で走行できなくな

った場合、なるべく安全な場所に車両を停止させてすぐにドライバーはガードレールの外側に避難して走行終了まで待避する

こと。

18 事故を起こした場合

接触、衝突などがあった場合、ドライバーは走行終了後直ちに別途定める競技役員に対して状況説明を行うものとする。

19 マナー

本レースに参加する車両そのものが高性能であり、ベテランドライバーから初走行メンバーまで、また車種、年式が広範囲にわたっている。参加者は順位やタイムに優先して何よりも事故発生防止に努めなければならない。PCJ／日本ポルシェクラブのマナーとしてクラブ員同士、走行中の車両接触を絶対に避けるように努めなければならない。

PCJ－CUP は高品質なワンメイクレースの見本となるところに重点を置く。

20 賞典

開催ごとに各クラス上位3名までに表彰トロフィーを贈呈。
年間総合チャンピオンへは別途トロフィーを贈呈。

PCJ-CUP 2025

人 数	2025PCJ-CUP	ゼッケン
1	小 嶋 健太郎	1
2	林 雅 弘	2
3	高 木 俊 人	4
4	渡 辺 順 一	5
5	長 嶋 重 登	7
6	小 林 賢 二	9
7	安 達 暁 一	10
8	伊 東 修 悦	11
9	佐 藤 衛	12
10	橋 村 剛	15
11	小 山 雅 也	22
12	鈴 木 隆 司	23
13	常 陸 真	25
14	塩 見 勝	27
15	真 野 壮一郎	28
16	熊 谷 秀 明	30
17	荻 野 哲 生	33
18	吉 山 慈 温	36
19	武 井 一 義	38
20	吉 本 武 史	40
21	高 木 和 代	44
22	平 田 高 士	51
23	熊 木 豊	52
24	大 塩 博	54
25	高 橋 正	55
26	林 田 光 平	59
27	張 川 貴 夫	63
28	萩 原 秀 樹	66
29	福 田 良 彦	68
30	今 村 英 治	73
31	武 居 義 隆	74
32	(小 嶋 健太郎)	75
33	多 田 均	77
34	森 村 彰 博	80
35	岸 本 博 史	88
36	前 田 晃	91
37	梅 村 充 史	94
38	山 本 賢	99
39	飯 田 訓 大	100
40	吉 村 雅 一	105
41	久 岡 卓 司	125
42	斎 藤 多 聞	222
43	畑 和 昌	525
44	松 島 豊	930
45	江 本 玄	981

※ 参加者様でゼッケン番号がご不明な場合は CUP 担当者にお問合せ下さい。

上記以外は、現在空き番号／2年間 PCJ-CUP に参加のない者、名簿に名前のない者は削除しました。

PCJ-CUP 開催状況

1992年	4月12日 (日) 9月27日 (日)	エビス 東コース エビス 東コース	参加25台 17台	12周 12周 ×2ヒート
1993年	5月16日 (日) 10月17日 (日) 11月 3日 (日)	エビス 西コース エビス 東コース 仙台ハイランド	参加26台 25台 23台	15周 20周 20周
1994年	4月 3日 (日) 5月 3日 (火) 5月14日 (土) 10月23日 (日) 11月 6日 (日)	エビス 西コース 菅生 日光スピードパーク エビス 西コース 仙台ハイランド	26台 26台 16台 15台 22台	15周 20周 ジムカーナ ×5ヒート 12周 ×2ヒート 20周
1995年	4月23日 (日) 5月21日 (日) 7月16日 (日) 9月24日 (日) 11月12日 (日)	菅生 エビス 西コース TI エビス 西コース 仙台ハイランド	35台 31台 43台 30台 29台	15周 12周 ×2ヒート 12周 20周 15周
1996年	5月12日 (日) 7月14日 (日) 9月 8日 (日) 10月10日 (木)	TI TI エビス 菅生	39台 43台 29台 34台	10周 10周 15周 20周
1997年	3月16日 (日) 6月 1日 (日) 9月14日 (日) 11月30日 (日)	TI 菅生 エビス 鈴鹿	45台 32台 27台 64台	12周 20周 15周 タイムトライアル
1998年	3月 1日 (日) 5月24日 (日) 9月13日 (日) 10月18日 (日)	TI 鈴鹿 富士 菅生	43台 39台 38台 27台	15周 タイムトライアル 12周 15周
1999年	4月11日 (日) 6月20日 (日) 8月22日 (日) 11月14日 (日)	菅生 鈴鹿 TI 富士	30台 32台 37台 36台	15周 タイムトライアル 15周 12周
2000年	4月 2日 (日) 7月16日 (日) 9月 3日 (日) 10月 1日 (日)	菅生 鈴鹿 TI もてぎ	24台 44台 28台 23台	15周 タイムトライアル 15周 15周
2001年	3月25日 (日) 6月 3日 (日) 7月29日 (日) 9月16日 (日)	富士 鈴鹿 TI 菅生	51台 54台 44台 48台	10周 9周 10周 12周
2002年	4月14日 (日) 6月 2日 (日) 9月29日 (日) 10月27日 (日)	菅生 富士 鈴鹿 TI	38台 52台 47台 32台	12周 10周 タイムトライアル 10周
2003年	3月 9日 (日) 5月18日 (日) 7月13日 (日) 9月15日 (日)	TI 富士 菅生 鈴鹿	47台 50台 33台 46台	12周 8周 12周 タイムトライアル
2004年	3月 7日 (日) 7月11日 (日) 9月 5日 (日) 10月11日 (日)	TI 菅生 鈴鹿 MOTEGI	48台 41台 33台 34台	12周 12周 タイムトライアル 12周
2005年	4月17日 (日) 6月26日 (日) 7月10日 (月) 9月18日 (日)	岡山国際 富士 菅生 鈴鹿	39台 43台 32台 42台	12周 タイムトライアル 12周 タイムトライアル
2006年	4月16日 (日) 5月28日 (日) 7月 9日 (日) 9月17日 (日)	岡山国際 富士 菅生 鈴鹿	26台 37台 30台 24台	12周 10周 12周 タイムトライアル
2007年	3月18日 (日) 7月 1日 (日) 9月16日 (日) 11月18日 (日)	岡山国際 富士 鈴鹿 菅生	18台 30台 30台 31台	12周 10周 タイムトライアル 12周
2008年	3月20日 (日) 6月 8日 (日) 8月 3日 (日) 9月28日 (日)	鈴鹿 富士 菅生 岡山国際	36台 39台 34台 26台	タイムトライアル 20周 (耐久) 12周 12周

2009年	4月26日 (日) 5月31日 (日) 9月12日 (日) 10月 4日 (日)	鈴鹿 富士 菅生 岡山国際	36台 32台 31台 29台	タイムトライアル 20周 (耐久) 12周 12周
2010年	4月29日 (日) 5月 9日 (日) 7月13日 (日) 10月 3日 (日)	鈴鹿 富士 菅生 岡山国際	34台 35台 31台 25台	タイムトライアル 12周 12周 10周
2011年	7月17日 (日) 7月17日 (日) 9月19日 (日) 10月 2日 (日)	菅生 (午前) 菅生 (午後) 鈴鹿 岡山国際	26台 26台 29台 31台	12周 12周 タイムトライアル 10周
2012年	4月22日 (日) 5月27日 (日) 7月 7日 (日) 10月14日 (日)	鈴鹿 富士 菅生 岡山国際	41台 32台 26台 18台	タイムトライアル 12周 12周 12周
2013年	3月31日 (日) 6月16日 (日) 7月14日 (日) 9月 8日 (日)	岡山国際 富士 菅生 鈴鹿	26台 32台 27台 32台	12周 12周 12周 S 6周、Nタイムトライアル
2014年	3月30日 (日) 6月15日 (日) 7月 6日 (日) 10月12日 (日)	岡山国際 富士 菅生 鈴鹿	34台 38台 36台 35台	12周 12周 12周 S 2、Nタイムトライアル
2015年	3月29日 (日) 6月14日 (日) 7月12日 (日) 10月12日 (祝)	岡山国際 富士 菅生 鈴鹿	34台 48台 36台 30台	12周 12周 12周 S 8周、Nタイムトライアル
2016年	3月27日 (日) 6月12日 (日) 7月10日 (日) 9月19日 (祝)	岡山国際 富士 菅生 鈴鹿	26台 36台 27台 26台	12周 12周 12周 S 8周、Nタイムトライアル
2017年	4月 2日 (日) 6月11日 (日) 7月 9日 (日) 9月18日 (祝)	岡山国際 富士 菅生 鈴鹿	31台 32台 29台 26台	10周 10周 12周 S 9周、Nタイムトライアル
2018年	2月25日 (日) 6月10日 (日) 7月29日 (日) 9月17日 (月・祝)	岡山国際 富士 菅生 鈴鹿	35台 36台 28台 33台	10周 S 12周、N10周 12周 S 9周、Nタイムトライアル9周
2019年	6月 9日 (日) 6月30日 (日) 7月28日 (日) 9月16日 (月・祝)	富士 岡山国際 菅生 鈴鹿	28台 25台 24台 33台	10周 S 12周、N7周 12周 S 7周、N9周
2020年	5月31日 (日) 6月27日 (日) 9月20日 (月・祝) 10月11日 (日)	もてぎ 岡山国際 鈴鹿 菅生	中止 中止 中止 13台	 S・N 混走 8周 ×2
2021年	3月28日 (日) 6月27日 (日) 9月20日 (月・祝) 10月11日 (日) 11月 3日 (祝)	オートボリス 岡山国際 鈴鹿 菅生 富士	18台 18台 26台 18台 28台	雨天中止
2022年	3月20日 (日) 6月12日 (日) 7月10日 (月・祝) 9月19日 (日) 10月 9日 (祝)	オートボリス 富士 岡山国際 鈴鹿 菅生	14台 24台 15台 21台 13台	 雨天中止
2023年	3月26日 (日) 6月11日 (日) 8月 6日 (日) 10月 9日 (月・祝) 11月12日 (日)	オートボリス 富士 菅生 鈴鹿 岡山国際	12台 25台 10台 13台 16台	天候中止 中止
2024年	3月31日 (日) 6月30日 (日) 9月 1日 (日) 9月23日 (月・祝) 10月14日 (月・祝)	オートボリス 富士 菅生 岡山 鈴鹿	9台 14台 12台 22台 中止	

1992年～2024年 33年間で計127回開催 延べ参加台数 約4,021台

PCJ-CUP 運営委員会 委員長 前田 晃 (PCJ 本部)



PORSCHE CLUB OF JAPAN